

岡山三水系「重要水防箇所」の公表 【資料 - 4】

平成16年度は、現在まで10個の台風が日本列島に上陸しました。過去に例のない多数の台風襲来により、日本各地で災害をもたらしています。

このたび、岡山河川事務所では台風16号、18号、21号及び23号による被災状況を踏まえ、地元住民の皆様に防災意識を高めていただくことを目的として、「重要水防箇所」を公表します。

「重要水防箇所」とは、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視・点検を行うことが必要な箇所を示すもので、その重要度は3ランクに分類されます。[\(資料 - 1\)](#)

【重要水防箇所】

🔵 吉井川(直轄管理区間)においては、管理延長L = 73.2 kmのうち、L = 18.3 kmあります。[\(資料 - 2\)](#)

🔵 旭川(直轄管理区間)においては、管理延長L = 60.4 kmのうち、L = 46.7 kmあります。[\(資料 - 2\)](#)

🔵 高梁川(直轄管理区間)においては、管理延長L = 62.0 kmのうち、L = 61.4 kmあります。[\(資料 - 2\)](#)

重要水防箇所一覧表

吉井川
旭川
高梁川

重要水防箇所図

吉井川
旭川
高梁川

台風などの出水時には、地元の水防管理団体(市町村等)等がこれらの「重要水防箇所」の巡視・点検を重点的に行うなど、水防活動にあたります。[\(資料 - 3\)](#)

資料-1

重要水防箇所評定基準

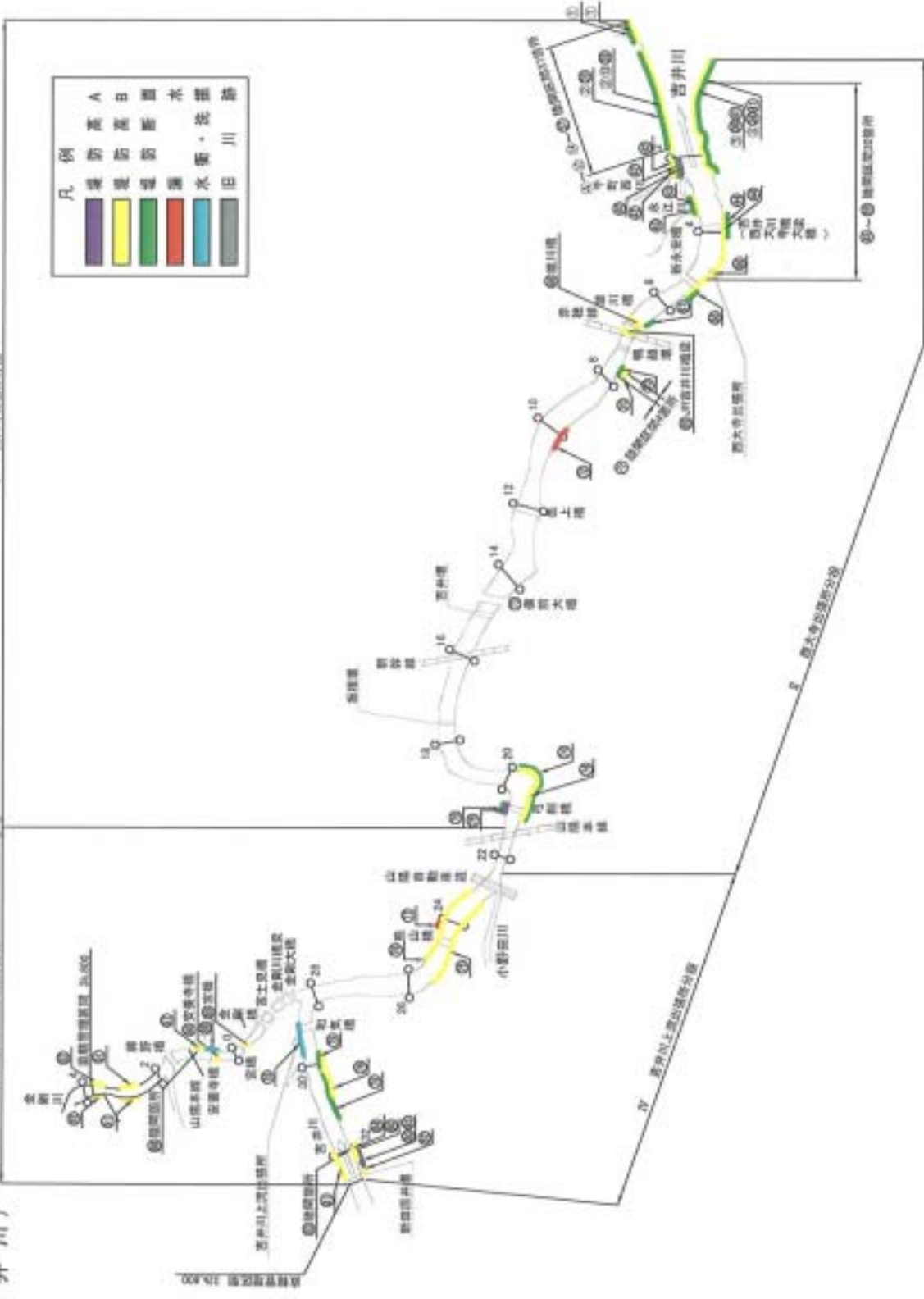
種 別	重 要 度		要注意区間
	A 水防上最も重要な区間	B 水防上重要な区間	
堤防高 (流下能力)	計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあつては計画高潮位）が現況の堤防高を越える箇所。	計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあつては計画高潮位）と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
堤防断面	現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅の2分の1未満の箇所。	現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅に対して不足しているが、それぞれ2分の1以上確保されている箇所。	
法崩れ・すべり	法崩れ又はすべりの実績があるが、その対策が未施工の箇所。	法崩れ又はすべりの実績があるが、その対策が暫定施工の箇所。 法崩れ又はすべりの実績はないが、堤体あるいは基礎地盤の土質、法勾配等からみて法崩れ又はすべりが発生するおそれのある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。	
漏水	漏水の履歴があるが、その対策が未施工の箇所。	漏水の履歴があり、その対策が暫定施工の箇所。 漏水の履歴はないが、破堤跡又は旧川跡の堤防で、漏水が発生するおそれがある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。	
水衝・洗掘	水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしているがその対策が未施工の箇所。 橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所で、堤防護岸の根固め等が洗われ一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。 波浪による河岸の決壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。	水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れにならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所。	
工作物	河川管理施設等応急対策基準に基づく改善措置が必要な堰、橋梁、樋管その他の工作物の設置されている箇所。 橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等が計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあつては計画高潮位）以下となる箇所。	橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等と計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあつては計画高潮位）との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
工事施工			出水期間中に堤防を開削する工事箇所又は仮締切り等により本堤に影響を及ぼす箇所。
新堤防・破堤跡・旧川跡			新堤防で築造後3年以内の箇所。 破堤跡又は旧川跡の箇所。
陸 間			陸間が設置されている箇所。

重要水防箇所位置図

(吉井川)

1. 吉井川上流地区分界

II. 吉井川上流地区分界



凡	例	A	B	C	D	水	工	跡
		堤防	堤防	堤防	堤防	水	工	跡
		高	高	高	高	工	工	跡
		水	水	水	水	工	工	跡
		工	工	工	工	工	工	跡
		跡	跡	跡	跡	工	工	跡

V. 吉井川上流地区分界

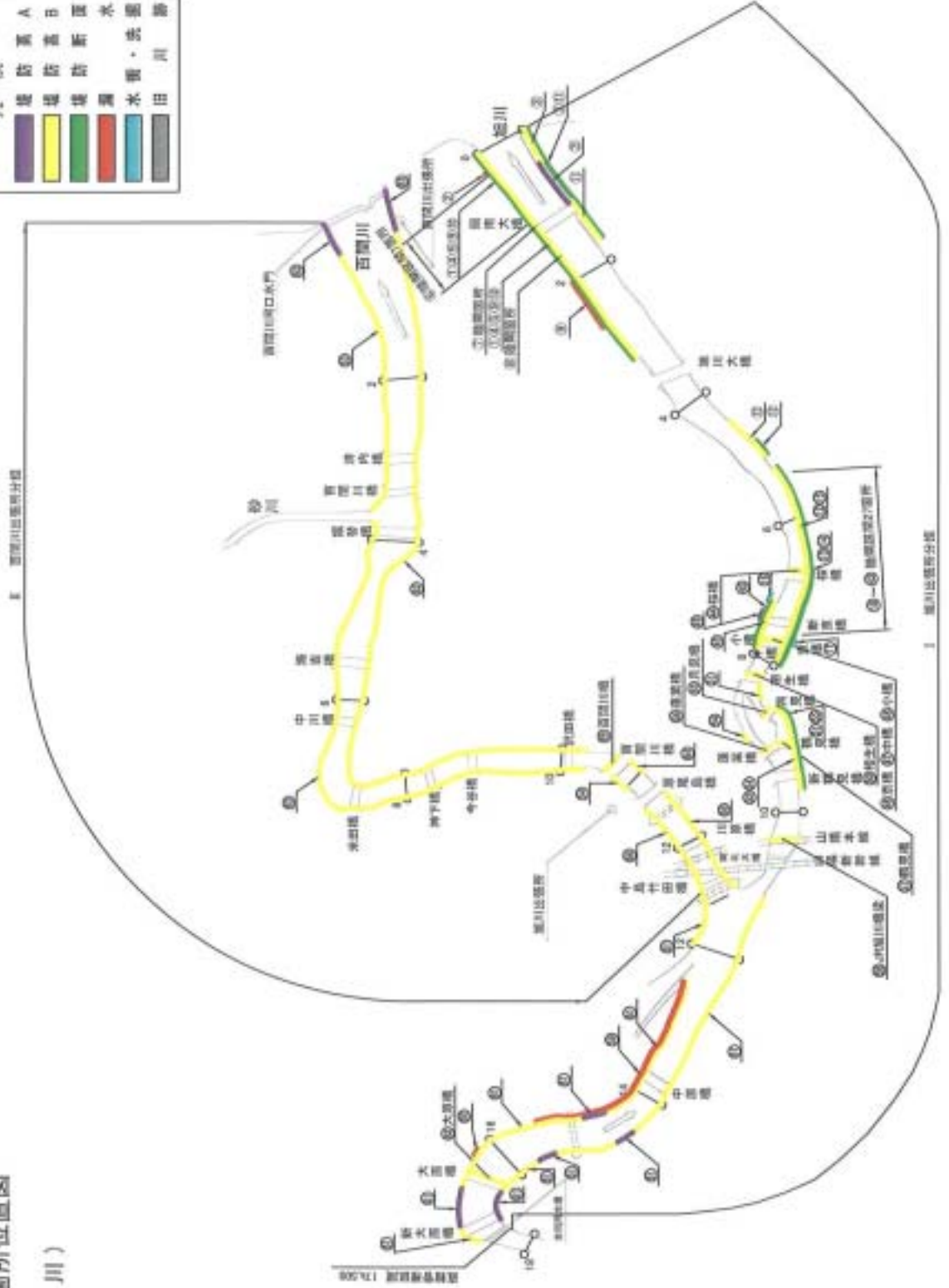
23-24 吉井川と山梨川合流部

重要水防箇所位置図

(旭川)

凡例

堤防	A	高水	水	堤防
堤防	B	新築	掘	川
堤防	C	新築	掘	川
堤防	D	新築	掘	川
堤防	E	新築	掘	川
堤防	F	新築	掘	川
堤防	G	新築	掘	川
堤防	H	新築	掘	川
堤防	I	新築	掘	川
堤防	J	新築	掘	川
堤防	K	新築	掘	川
堤防	L	新築	掘	川
堤防	M	新築	掘	川
堤防	N	新築	掘	川
堤防	O	新築	掘	川
堤防	P	新築	掘	川
堤防	Q	新築	掘	川
堤防	R	新築	掘	川
堤防	S	新築	掘	川
堤防	T	新築	掘	川
堤防	U	新築	掘	川
堤防	V	新築	掘	川
堤防	W	新築	掘	川
堤防	X	新築	掘	川
堤防	Y	新築	掘	川
堤防	Z	新築	掘	川



重要水防箇所位置図

(高梁川)

1 高梁川水系分界

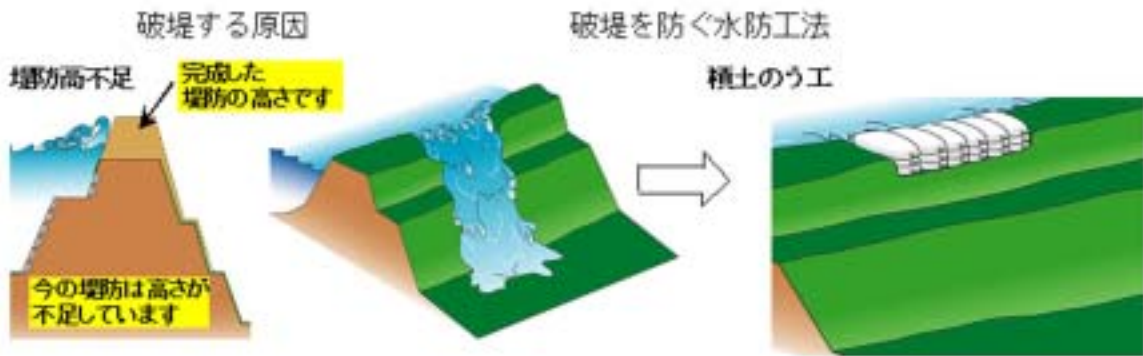
凡例

■	堤防	A
■	堤防	B
■	堤防	新
■	堤防	旧
■	水衝・洗掘	
■	水	
■	河川	



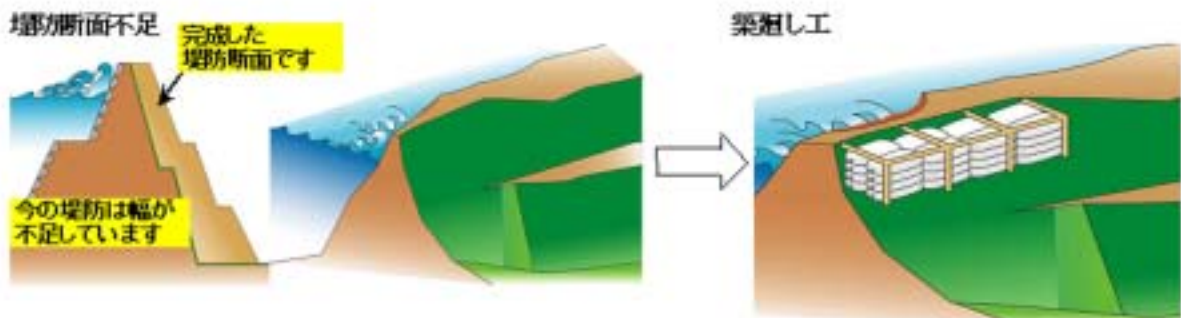
資料-3

水防工法



堤防が低いと洪水の時に川の水が溢れます。
えないようにします。
水が溢れると堤防が壊れやすくなります。

堤防に土のうを積んで水が堤防を越



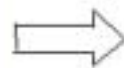
堤防断面が小さいと川の水で堤防が割られ、壊れやすくなります。
堤防が壊れないよう

堤防の裏側に土のうを積んで、
にします。

漏水



月の輪工



洗掘



川の激しい流れで、堤防が削られ、壊れやすくなります。が削られるのを防ぎます。

木流し



木に重しを付けて川に流し、堤防

山陽新聞記事 平成 16年 12月 26日 (日) 朝刊



洪水時の危険個所公表

岡山河川 防災意識向上を図る

台風被害が相次いだこと、災害意識を高めてもらうため、国土交通省岡谷地区が管理する高梁川、吉井川、旭川、吉井川水系の支流を公表した。岡谷地区、三水系の管理区画一五・六、

川の危険度のうち最も重要な危険個所は約四十三ヶ所とある。四十年前に一度の標準で記した洪水想定し、危険度を「重要(A)」「重要(B)」に分類。Aは洪水時の水位が堤防を越え、Bは堤防の厚みが

十分耐えられる個所の半分未満▽過去に洪水があったが対策が未施工な個所など。Bは堤防高に余裕がない個所など。人が川岸に下りるため堤防を切った部分などは要注意区間とした。

Aランクは高梁川に合流する小田川の真備町内が最多。管理区画一五・六のうち大半で水があふれ出す。治水対策も兼ねた河川改修計画で堤防の建設は中止したが、(岡谷地区)は河川の合流部を下流側に付け替えることを含め対策を検討中(岡谷地区)。

旭川は県庁下流▽余りの堤防の厚み不足や、岡山市江崎の洪水対策がまだできていない個所などがAランク。岡谷地区は洪水を防ぐ放水路となる吉井川の河口水門を広げる工事を実施中だが、完成は数年後の見通し。

岡谷地区は「治水対策工事は順次進めているが、長年かかるため、危険な場所を知らせることで防災に役立ててほしい」と、重要水防個所をホームページに掲載。アドレスは<http://www.okakawa-mill.co.jp/>